

ごりんふんさい すが だ とう
五輪粉碎、菅打倒を

かいけんこくみんとうひようほう ぜつたい そ し
改憲国民投票法を絶対阻止しよう

しんじゆく いか だい
6・6 新宿 怒りの大デモへ

しんがた かんせんりよく つよ あら へん い かぶ う だ せ かい
新型コロナウイルスはより感染力の強い新たな変異株を生み出しながら世界
じゆう もう い ふ かつこく ほけんとうきよく はあく れんじつ まんにん しん き かん
中で猛威を振るい、各国の保健当局が把握しただけで連日 50 万人もの新規感
せんしや まんにんちか ししや きろく せ かい ほけん き かん がつ にち
染者、1 万人近くの死者が記録されている。世界保健機関 (WHO) は 5 月 21 日、
じつさい ししやすう こうしきとうけい ばい のぼ か のうせい はつびよう いりよう かい ご
実際の死者数は公式統計の 2～3 倍に上る可能性がある」と発表。医療・介護
じゆう じしや すく まん せんニン しぼう あ にじゆうよつか
従事者は少なくとも 11 万 5 千人が死亡したと明かした。24 日にはアメリカ
こくむしやう にほん とこうけいかい さいこう とこうちゆうし たいひかんこく
国務省が日本への渡航警戒レベルを最高の「渡航中止・退避勧告」(レベル 4)
ひ あ いた じようきようか とうきようごりん きようこう
に引き上げるに至った。この状況下で東京五輪・パラリンピックを強行し、
いつたい かいけん せんそうこつかか すす ねら すがせいけん ぜつたい ゆる
それと一体で改憲・戦争国家化を進めようと狙う菅政権を絶対に許すことはでき
いま ごりんふんさい すが だ とう うずま いか こえ しんじゆくだいこうしん とちよう
ない。今こそ五輪粉碎・菅打倒へ、渦巻く怒りの声を 6・6 新宿 大行進一都庁
そうけつしゆう
デモに総結集しよう！

にゆうかんほう そ し じようせい か
入管法阻止が情勢変えた

ごりん さいゆうせん かんせん かくだい しやかい ほうかい いつそう か そく
五輪を最優先してコロナ感染を拡大し、社会の崩壊を一層加速させながら、な
ごりんかいさい こしつ すがせいけん いか にほんじゆう ふつてん こ まいにちしんぶん
おも五輪開催に固執する菅政権への怒りは日本中で沸点を超えている。毎日新聞
にち おこな よろんちようさ すがせいけん しじりつ げつかん きゆうらく
が 22 日に行った世論調査では、菅政権の支持率は 1 カ月間で 9 割急落し 31
せいけんほつそくごさいてい ふしじ とうきようしんぶん とない かぎ
% (政権発足後最低)、不支持は 59 % となった。東京新聞などが都内に限って 22
にち おこな よろんちようさ しじりつ お ふしじりつ
～ 23 日に行った世論調査では支持率は 16・1 % まで落ち、不支持率は 64・4
たつ いま ろうどうしやみんしゆう いか じつりよくけつき とうきようごりん ふんさい かいけん
% に達した。今こそ労働者民衆の怒りの実力決起で東京五輪を粉碎し、改憲

せんそう すがせいけん だとう とき
 ・戦争の菅政権を打倒する時だ。

じようせい おお か にゆうかんほうかいあく そし しょうりほん しぜんごう きほう
 情勢を大きく変えたのは、入管法改悪を阻止した勝利だ。本紙前号で既報
 とお にゆうかんほうかいあく わかもの せんとう れんじつ こつかいとうそう ねば づよ たたか
 の通り、入管法改悪をめぐっては、若者を先頭に連日の国会闘争が粘り強く闘
 にゆうかんとうきよく ひしゆうようしや ぎやくたい ほうかいあく なかみ ぜんしやかいてき あば
 われ、入管当局による被収容者への虐待や法改悪の中身が全社会的に暴かれ
 なか じみんとう ほうあん と さ いれい てんかい つづ
 る中で、ついに自民党が法案を取り下げるといふ異例の展開となった。これに続
 かいけんこくみんとうひようほうかいてい と ちちよう さ きせいほうあん かんれん き じ めん
 いて改憲国民投票法改定や土地調査規制法案（関連記事2面）をめぐっても、
 こつかいまえ かんていまえ れんじつ こうぎ こうどう つづ すがせいけん いか よろん いつたい よ
 国会前や官邸前で連日の抗議行動が続き、菅政権に怒る世論のうねりと一体で与
 やとう ゆ
 野党を揺さぶっている。

こんかい にゆうかんほうかいあく かん にゆうかんとうきよく がいこくじん と し
 そもそも今回の入管法改悪やこの間の入管当局による外国人への取り締ま
 きよう か ちよう き しゆうよう きようせいたいきよ うご どうきよう ごりん きようこう いつたい かいけん
 りの強化、長期収容と強制退去の動きは、東京五輪の強行と一体で改憲・
 せんそう む ち あんだんあつ きよう か はか すす ねん がつ
 戦争に向けた治安弾圧の強化を図るものとして進められてきた。2016年4月
 とうきよう ごりん ねん しやかい ふ あん あた がいこくじん おおはば
 には「東京五輪・パラリンピックの年までに社会に不安を与える外国人を大幅
 しゆくげん する ないぶ つうたつ にゆうこくかん り きよく げん しゆうつにゆうこくざいりゆうかん り ちよう
 に縮減する」と記した内部通達が、入国管理局（現・出入国在留管理庁）
 きよくちようめい だ かてい ちよう き しゆうよう きゆうぞう ひ しゆうようしや ぎやくたい
 の局長名で出された。この過程で長期収容が急増、被収容者への虐待も
 しんこく か ことし がつ な ご や にゆうかん じんじよせい さいていげん
 深刻化し、今年3月には名古屋入管でスリランカ人女性ウィシュマさんが最低限
 いるよう そち う きかい うば むざん し お こ
 の医療措置を受ける機会も奪われて無残な死に追い込まれたのだ。

がつつたち らいにち ふたり いもうと にゆうかんとうきよく たい しんそう
 5月1日に来日したウィシュマさんの2人の妹は、入管当局に対して真相
 きゆうめい かん し えいぞう かいじ もと にち たいざい き かん にちかんえんちよう
 究明と監視カメラのビデオ映像の開示を求め、21日から滞在期間を90日間延長
 あき たたか つづ ふたいてん けつてい かた
 して「すべてが明らかにされるまで闘い続ける」と不退転の決意を語っている。

おも こた にゆうかんたいせいきたい ひしゆうようしや ぜんいんかいほう てつていき たたか
 この思いに応え、入管体制解体・被収容者の全員解放まで徹底的に闘おう。
 ごりん じよう ち あんだんあつ きよう か かいけん ねら すが いま たお
 五輪に乗じて治安弾圧の強化と改憲を狙う菅を今すぐ倒そう！

医療関係者の動員やめろ

開催予定日まで2カ月をきった東京五輪に対し、世界中で「中止しろ！」
 の声が巻き起こっている。もはや日本と世界の労働者階級人民は、誰一人とし
 て五輪開催など望んではいない。そればかりか五輪関連のニュースが流れるたび、
 職場でも街頭でもSNS上でも激しい怒りと怨嗟の声があふれかえる状況
 だ。IOC（国際オリンピック委員会）副会長・コーツの「緊急事態宣言下で
 も大会を開催する」との発言は、怒りの炎にますます油を注いでいる。

こうした中、菅は自らの政権延命と改憲・戦争に向けた国威発揚、そして一握
 りの大企業の金もうけのために、あくまでも五輪を強行しようとあがいている。
 コロナ前に策定された、東京都内の公立小・中・高校生ら約81万人を大会観
 戦に動員する計画（事業費41億円）も変更はなく、動員を拒否した生徒は「欠席」
 扱いにされる。子どもの感染リスクなど一切配慮せず、「戦時動員」の予行演習
 をやろうとしているのだ。

また、東京都内の1日あたりのPCR検査件数は現状で5～6千件程度であ
 るにもかかわらず、大会期間中は選手1万5千人と大会関係者8万人に毎日検査
 を実施する。さらに選手村には24時間運営の発熱外来・検査機関を置き、30カ所
 の大会指定病院を整備、オリ・パラ両大会で延べ7千人の医療労働者を動員
 するという。一体どこにそんな医療体制の余剰があるのか。5月上旬の時点
 でコロナ陽性でも入院できない人が4万人近くに達し、医療現場は崩壊してい
 る。警察が昨年3月以来「変死」とみなした遺体からコロナウイルスが検出され
 た例は400件を超える。

まともな医療さえ受けられず命を失う人が日本中にどれほどいるのか。こ

の状況で五輪を強行することがどれほど感染を拡大し、医療現場の崩壊を促進することになるか。東京大会はもはや「殺人オリンピック」だ。絶対に許せない！

6・6 新宿大行進—オリンピックやめろ！都庁デモに結集し、民衆の実力決起で五輪を粉碎しよう。

7・4 国鉄集会の成功へ

4月の日米首脳会談を転換点として、中国との戦争を想定した米日の戦争策動が一気に進んでいる。九州の霧島演習場（宮崎県、鹿児島県）などで5月11～17日に行われた国内初の日米仏共同訓練に続き、22日からは陸上自衛隊の実弾射撃訓練「富士総合火力演習」が東富士演習場（静岡県）で行われた。緊急事態宣言の再延長で多くの人々がさらなる困窮を強いられる一方、米軍や自衛隊の訓練はコロナ禍でも平然と行われ、辺野古では新基地建設工事が続行されている。

他方、菅はコロナワクチンの大規模接種を防衛省・自衛隊に担当させた結果、予約システムの不備などから大混乱を引き起こした。それでも菅が自衛隊動員にこだわるのは、「未曾有の『有事』に官民共同で対処する経験は、自衛隊にとって資産となる」（産経新聞5月17日付）からだ。新自由主義による医療崩壊を放置しながら、危機に乗じて「戦時医療」への転換を進めようとしているのだ。

こうした戦争策動と一体で、日本会議などの極右勢力が戦前と見まごうばかりの国家主義・排外主義を扇動し、20日の自民党の会合ではLGBT（性的少

数者) に対して「^{どうとくてき}道徳的に認められない」「^{しゆ ほぞん そむ}種の保存に背く」などと許しがたい差別暴言が相次いだ。

ところが、このような^{ちようじゆうだいきよくめん}超重大局面において、^{さいだい や とう りつけんみんしゆとう れんごう}最大野党の立憲民主党は連合幹部や保守勢力の^{かんぶ ほしゆせいりよく かおいろ うかが}顔色を伺い、菅政権に^{すがせいけん たす ぶね}助け舟を出す形で^{だ かたち}改憲国民投票法改定案に^{ていあん さんせい}賛成した。その立憲民主党を^{りつけんみんしゆとう ふもん ふ}不問に付して「^{や とうきようとう}野党共闘」の維持に^{い じ み}身をやつしているのが^{に ほんきようさんとう}日本共産党だ。こんな野党勢力に^{や とうせいりよく}改憲を止める^{かいけん と}力も、政治や^{ちから}社会を変える^{しやかい か}力もないことは明白だ。

今、何よりも必要なのは^{いま なに}労働者民衆の^{ひつよう ろうどうしやみんしゆう}実力決起であり、^{じつりよくけつ き}アメリカの^{うんどう}BLM運動や^{ほんこん}香港、^{たたか}ミャンマーの^{きよまん}闘いように^{がいとう}巨万のストライキと^{じ こくせいふ}街頭デモで^{しほん}自国政府・資本と^{てつていき たたか}徹底的に^{しほん せんべい}闘うことだ。^{げん ばろうどうしや お}資本の先兵となって^{れんごうかんぶ}現場労働者を押さえつける連合幹部を^{だ とう}打倒し、^{たたか}闘う^{ろうどうくみあい}労働組合をよみがえらせよう。この時代に^{じ だい}本当に^{ほんとう}通用する^{つうよう}階級^{かいきゆう}的労働運動を^{できろうどううんどう}登場させよう。^{とうじよう}国鉄闘争^{こくてつとうそうぜんこくうんどう}全国運動が^{しゆさい}主催する^{しゆうかい}7・3～4集会はそのための^{そうけつ き しゆうかい}総決起集会だ。6・6^{しんじゆくだいこうしん}新宿大行進を^ぬぶち抜き、7・3～4集会に^{しゆうかい}全国^{ぜんこく}から^{だいけつしゆう}大結集をかちとろう！